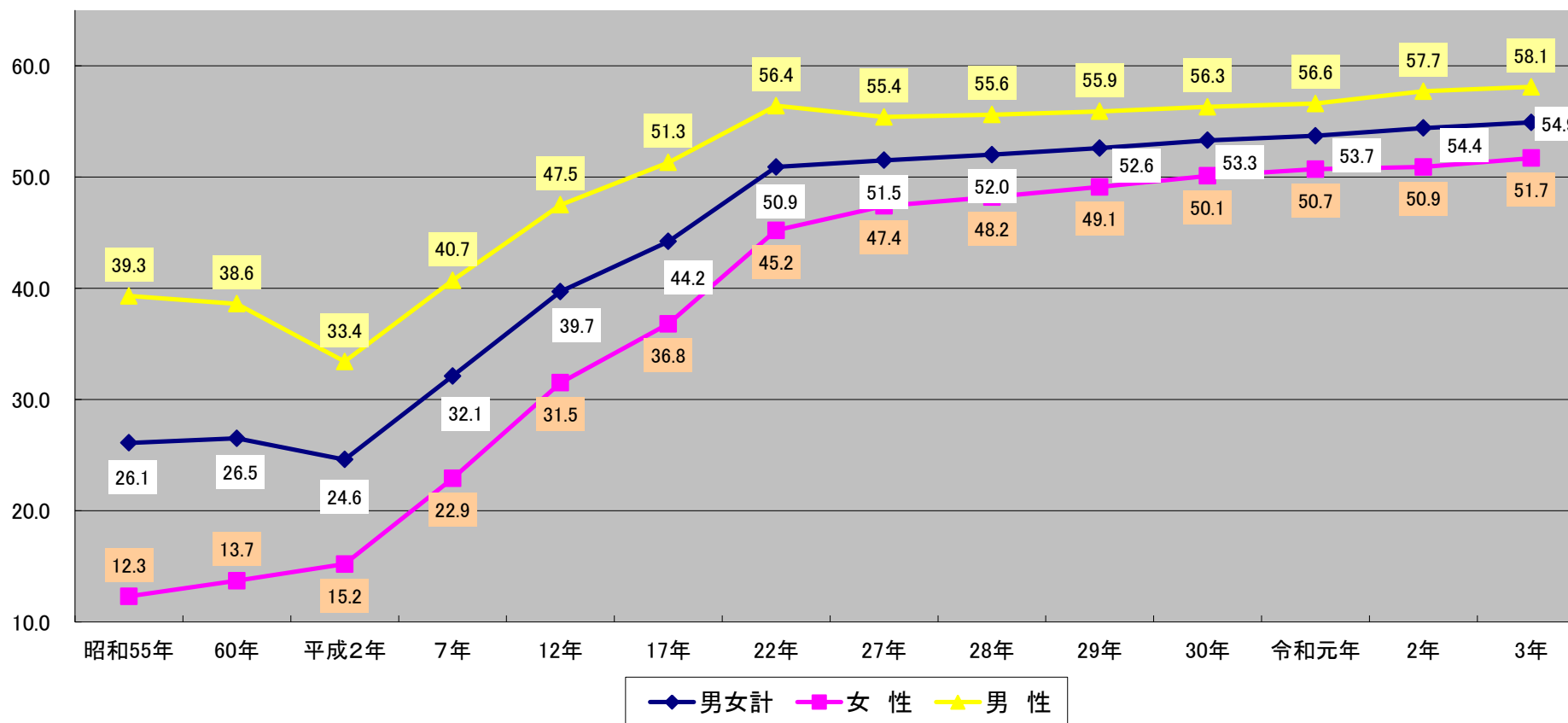


大学進学率の推移(全国)

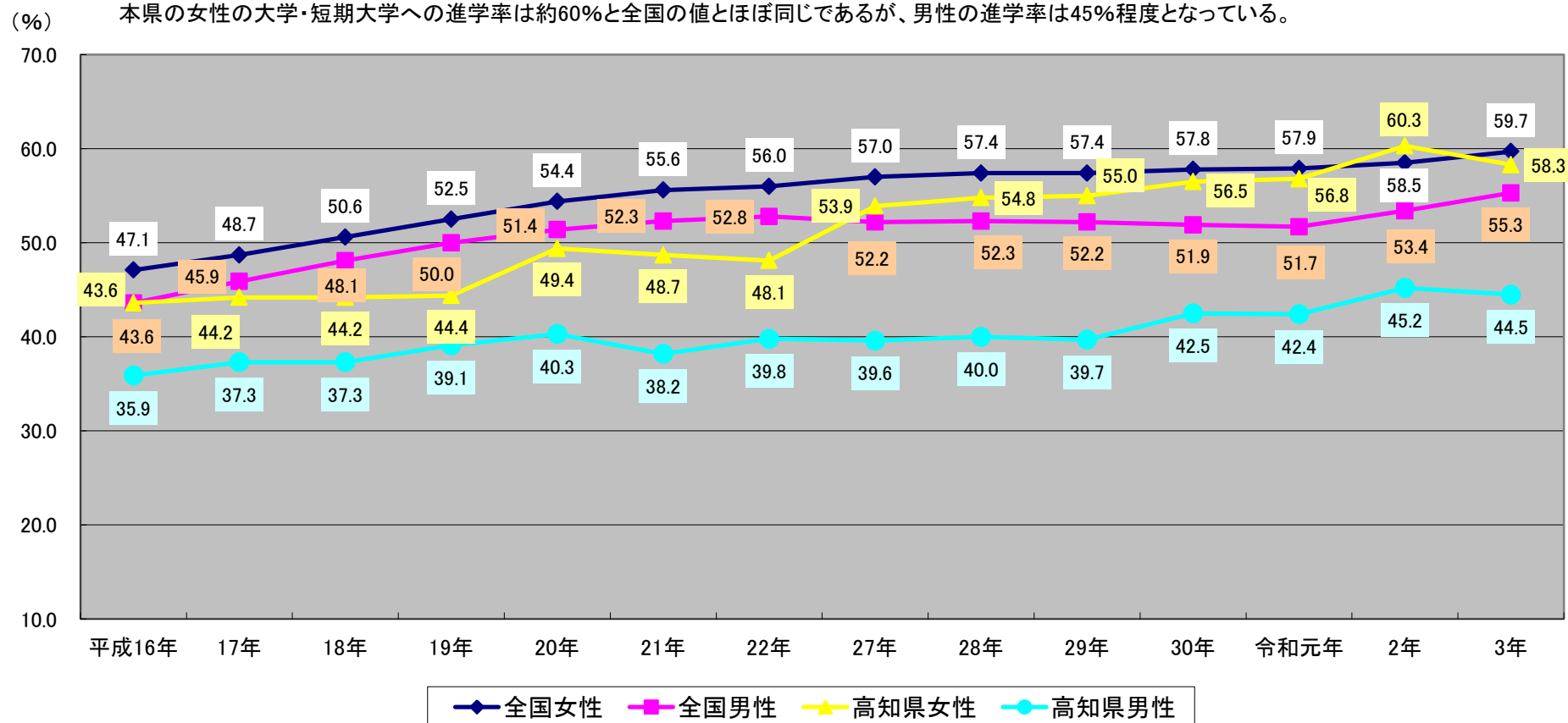
(%) 大学(学部)への進学率は年々増加しており、男女共に半数近くの者が大学へ進学している。男女の大学(学部)への進学率の差は徐々に少なくなっているものの、女性が6%程度低い状況が続いている。



資料: 文部科学省「学校基本調査」による。大学(学部)への進学率(過年度高卒者等を含む)。
元データの訂正に伴い令和2年の値を訂正。

大学等(大学+短期大学)現役進学率の推移

全国・本県ともに短大等を含めると男性よりも女性の進学率が高い。また、全国男女の大学等進学率はここ10年ほぼ横ばいである。
本県の女性の大学・短期大学への進学率は約60%と全国の数値とほぼ同じであるが、男性の進学率は45%程度となっている。



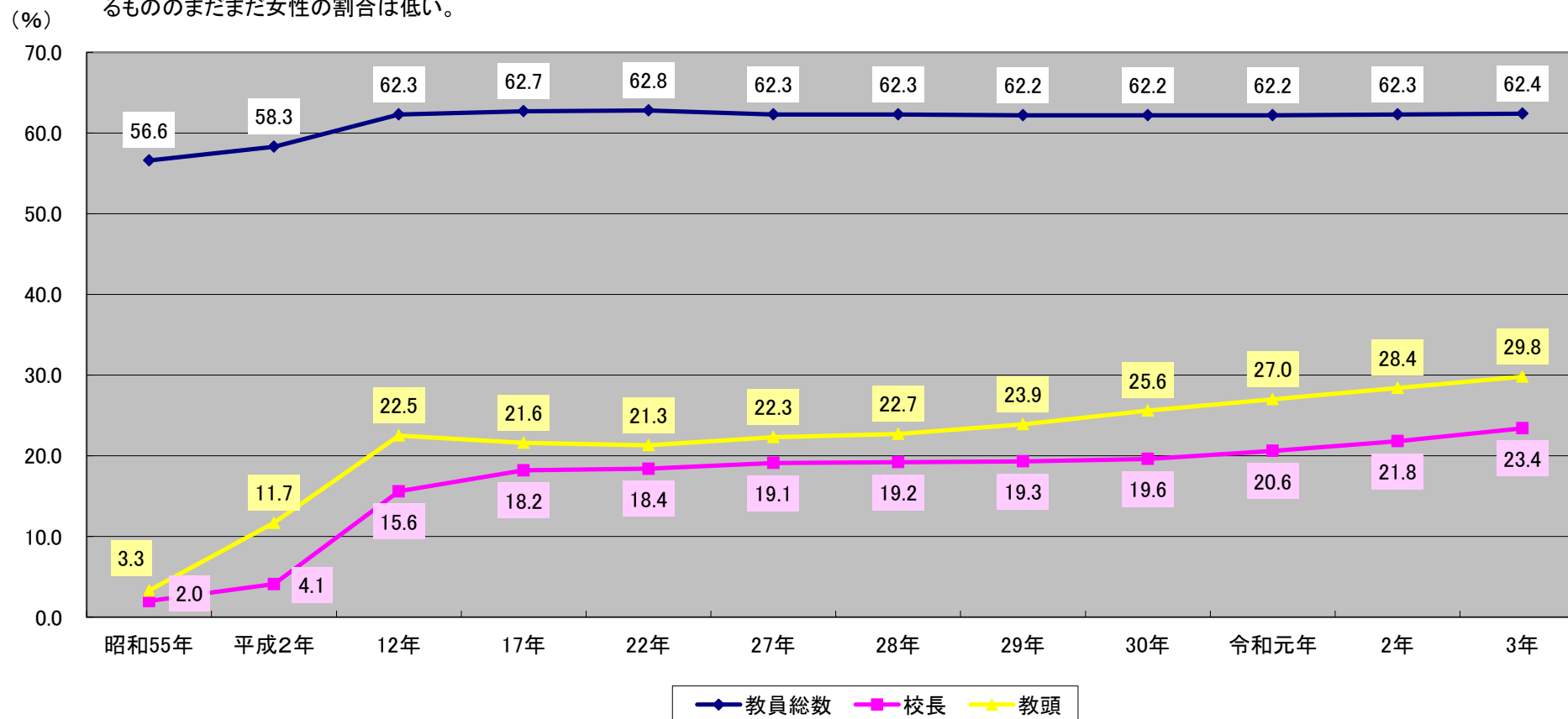
資料：文部科学省「学校基本調査」による。

※全国の数値は、高等学校及び中等教育学校後期課程本科卒業者のうち、大学の学部・通信教育部・別科、短期大学の本科・通信教育部・別科及び高等学校等の専攻科に進学した者(就職進学した者を含む。)の占める比率。

※本県の数値は、(進学者数/卒業者数) × 100(%)。

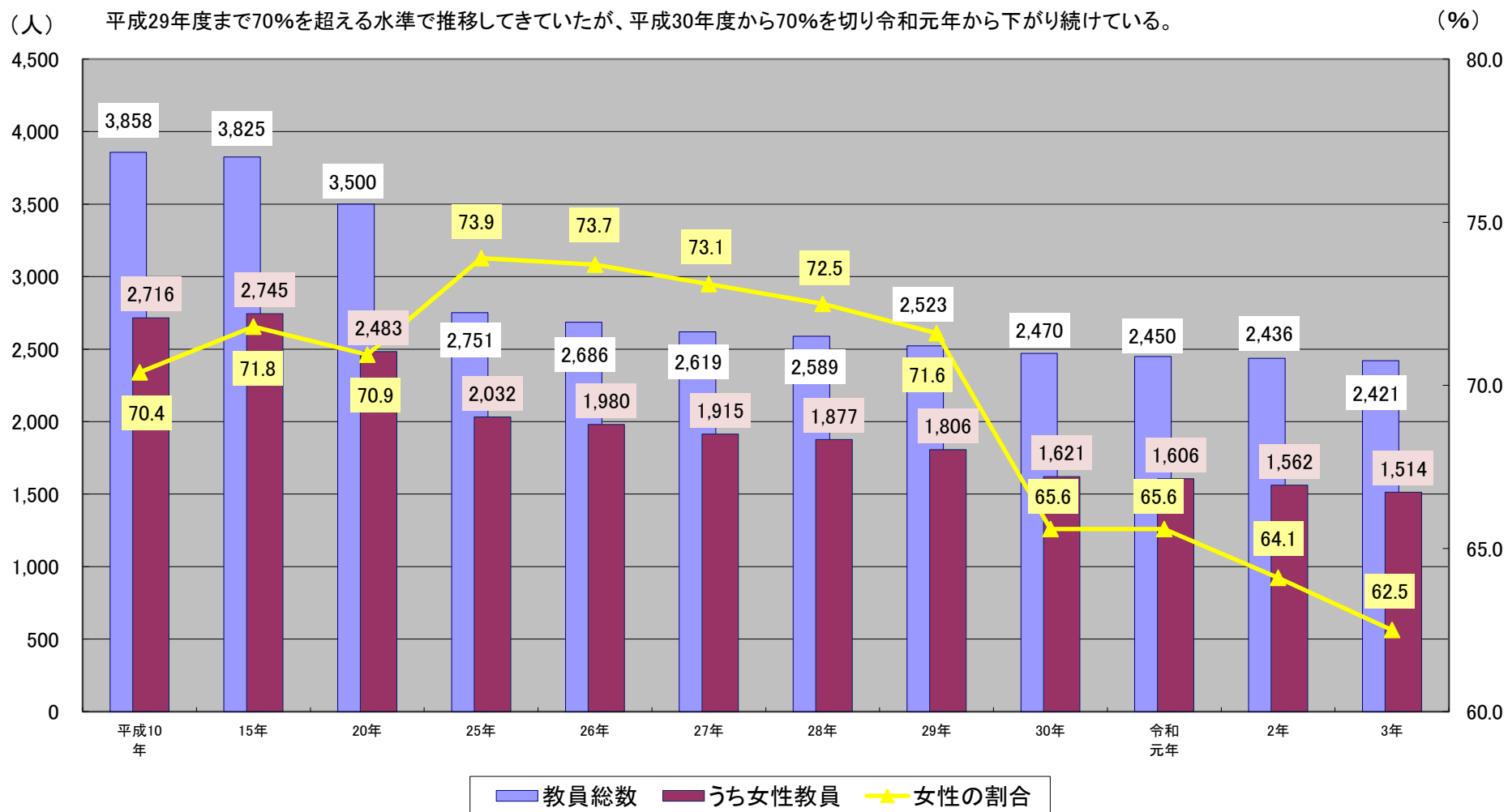
小学校の管理職等に占める女性の割合(全国)

平成12年以降、教員総数における管理職等に占める女性の割合は60%強で横ばい状態である。令和3年には、教頭は29.8%、校長は23.4%と、微増しているもののまだまだ女性の割合は低い。



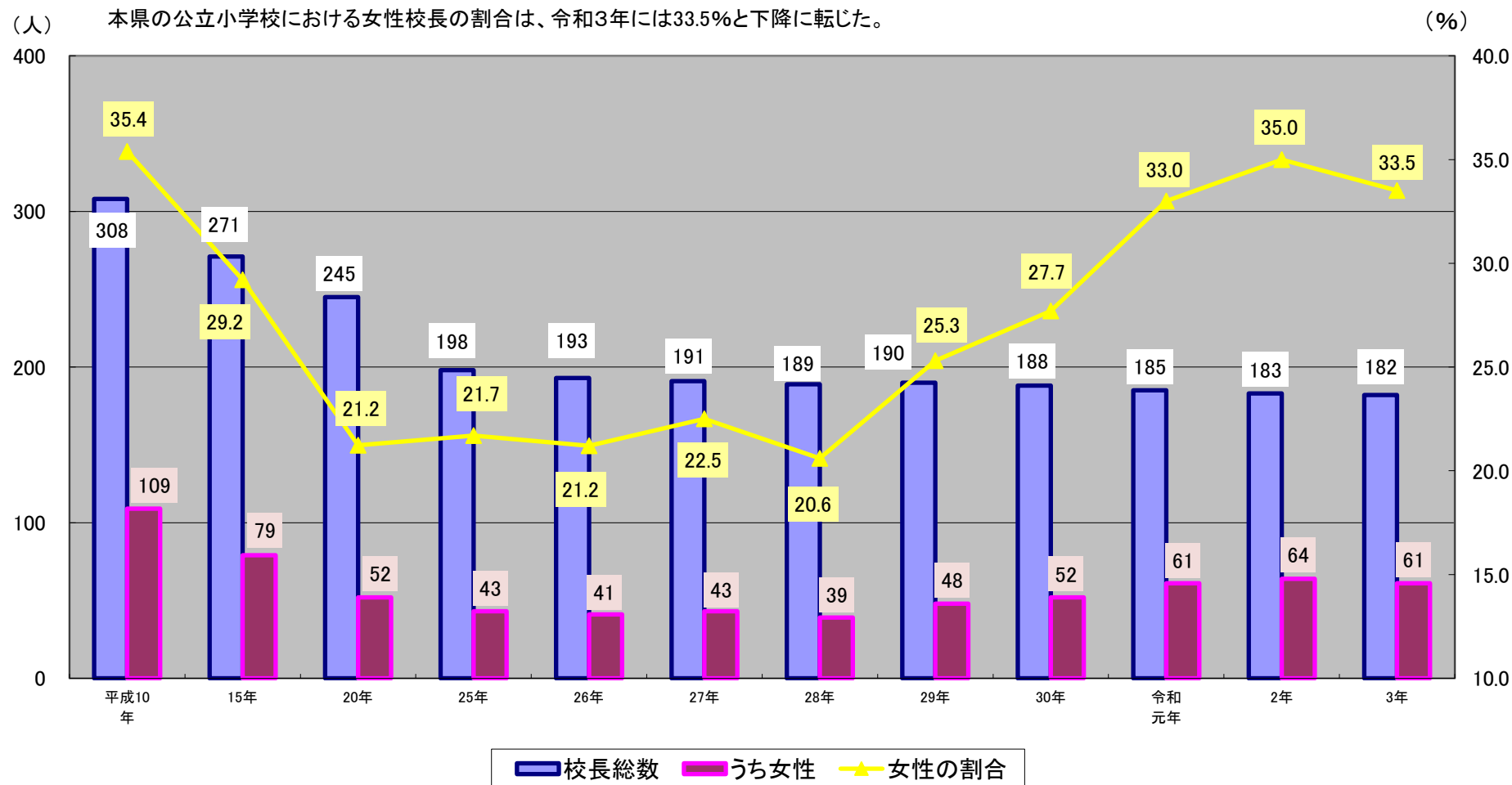
資料: 文部科学省「学校基本調査」による。各年5月1日現在。本務教員対象。

公立小学校における女性教員の数とその割合(高知県)



資料: 高知県統計分析課「令和3年度版 県勢の主要指標」による。

公立小学校における女性校長の数とその割合(高知県)

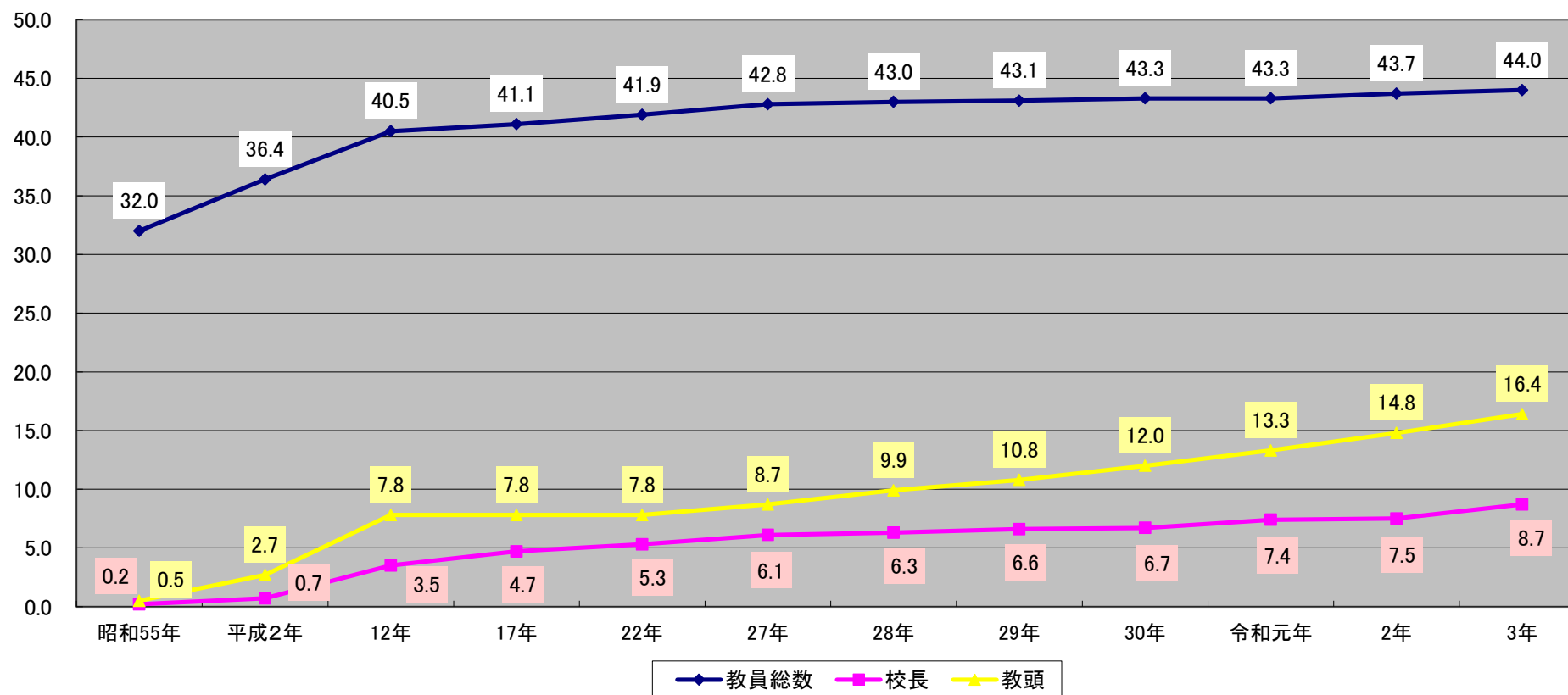


資料: 高知県統計分析課「令和3年度版 県勢の主要指標」による。

中学校の管理職等に占める女性の割合(全国)

(%)

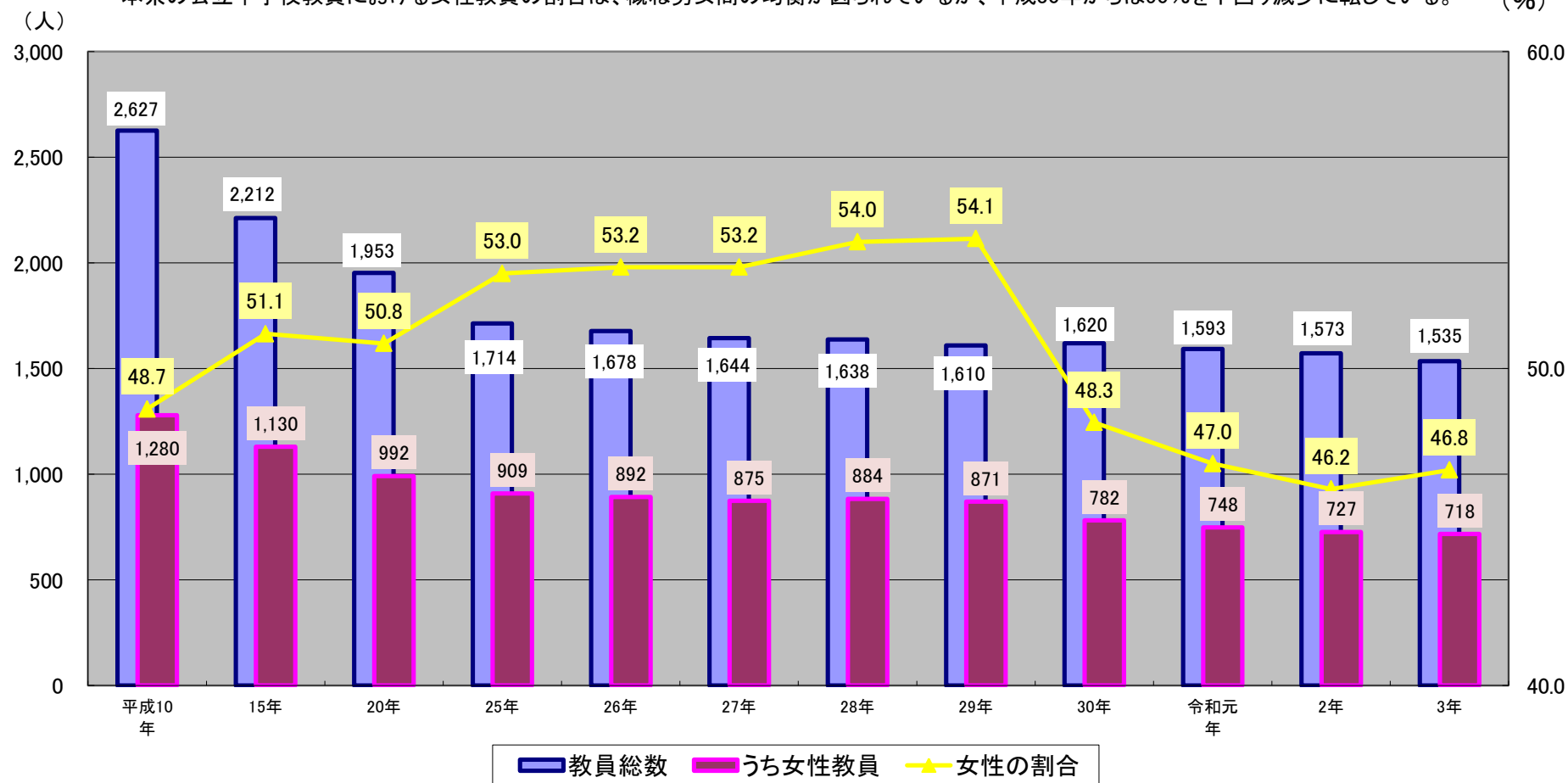
中学校の管理職等に占める女性の割合は毎年微増しているものの、令和3年度は教頭16.4%、校長8.7%と低い。



資料：文部科学省「学校基本調査」による。各年5月1日現在。本務教員対象。

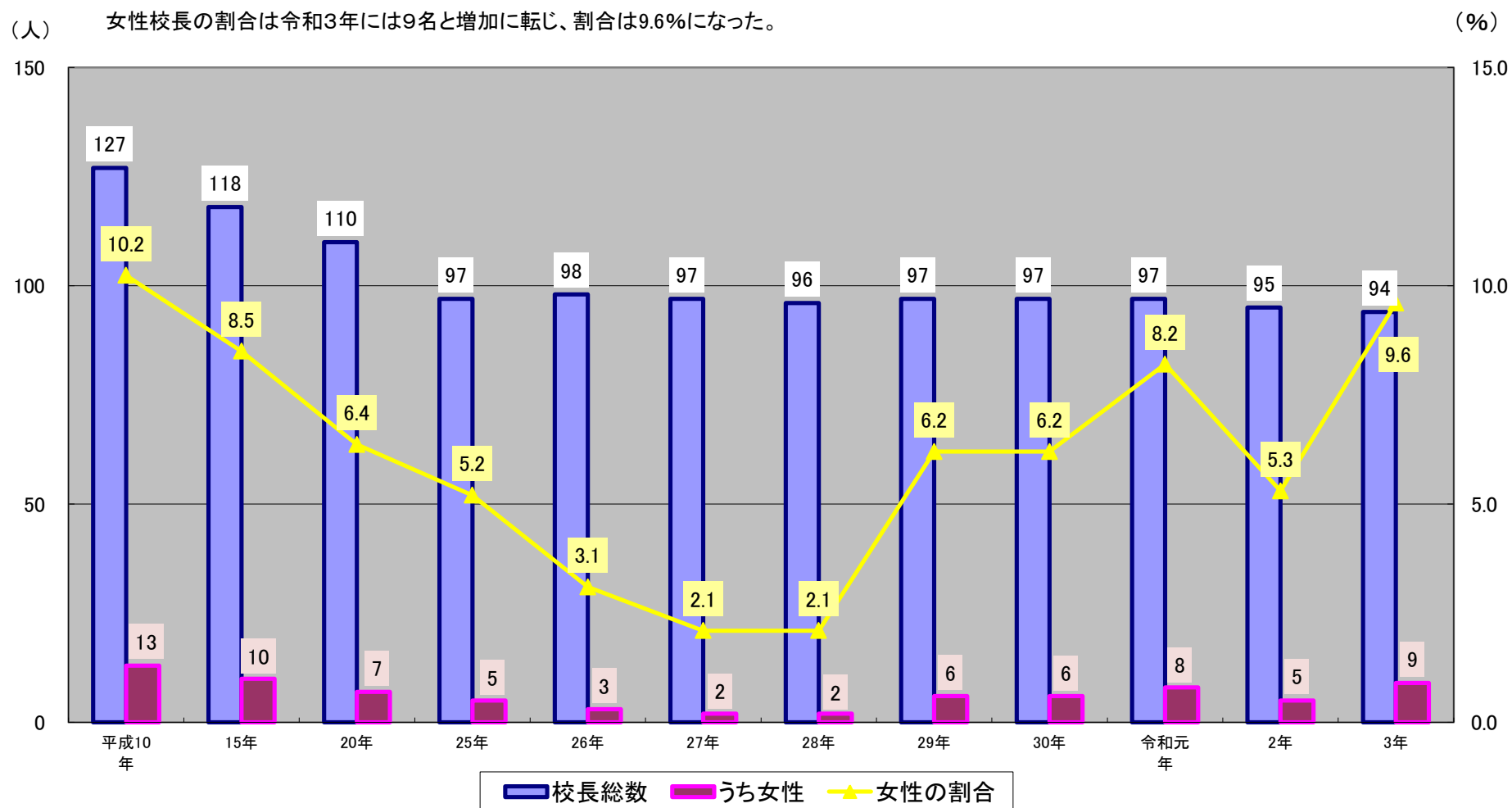
公立中学校における女性教員の数とその割合(高知県)

本県の公立中学校教員における女性教員の割合は、概ね男女間の均衡が図られているが、平成30年からは50%を下回り減少に転じている。 (人) (%)



資料: 高知県統計分析課「令和3年度版 県勢の主要指標」による。

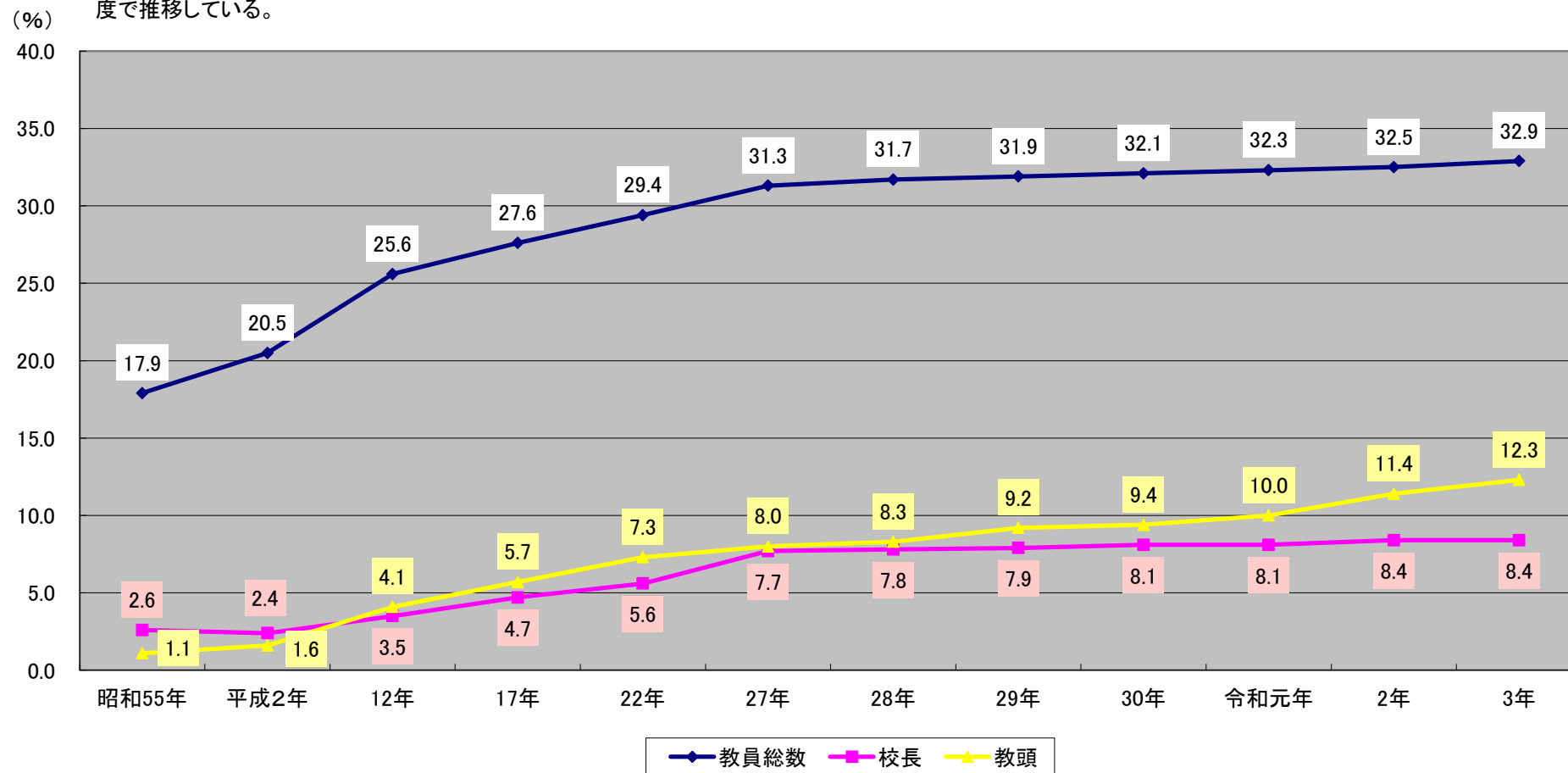
公立中学校における女性校長の数とその割合(高知県)



資料: 高知県統計分析課「令和3年度版 県勢の主要指標」による。

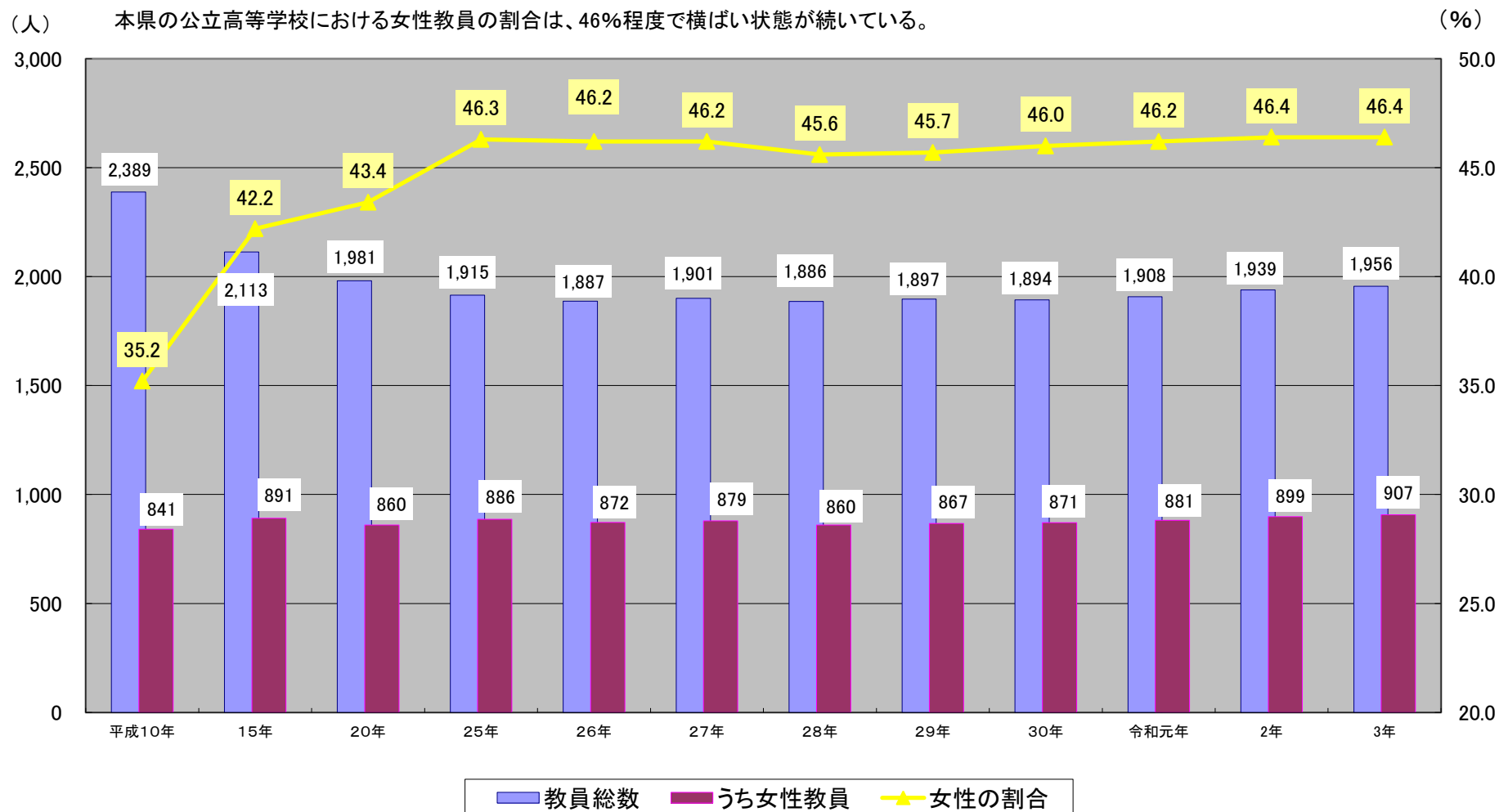
高等学校の管理職等に占める女性の割合(全国)

高等学校の管理職等に占める女性の割合は、平成17年以降微増傾向にあるが、依然として低い状態にあり、教員総数に占める女性教員の割合も3割程度で推移している。



資料：文部科学省「学校基本調査」による。各年5月1日現在。本務教員対象。

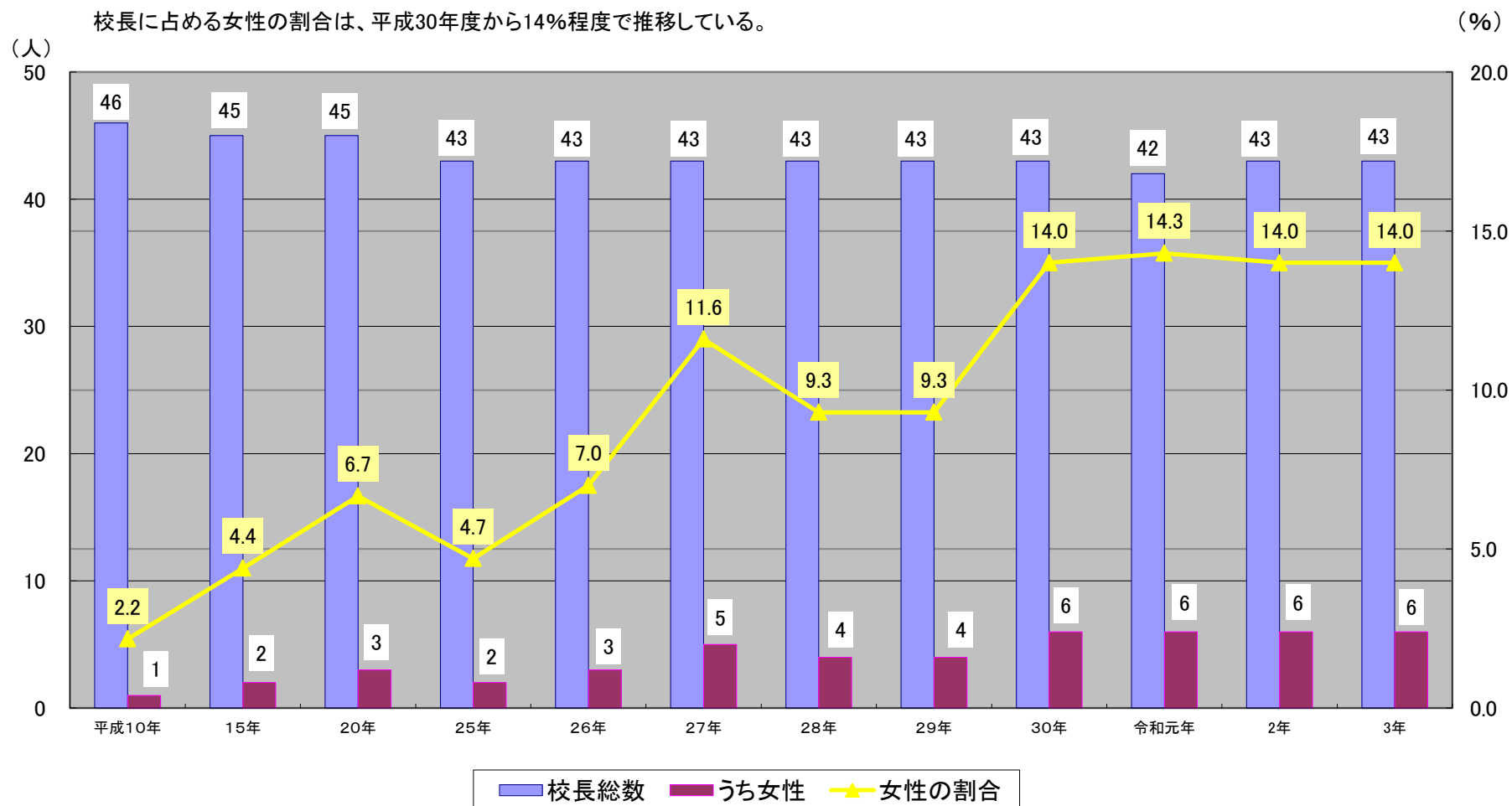
公立高等学校における女性教員の数とその割合（高知県）



資料：高知県統計分析課「令和3年度版 県勢の主要指標」による。

公立高等学校における女性校長の数とその割合(高知県)

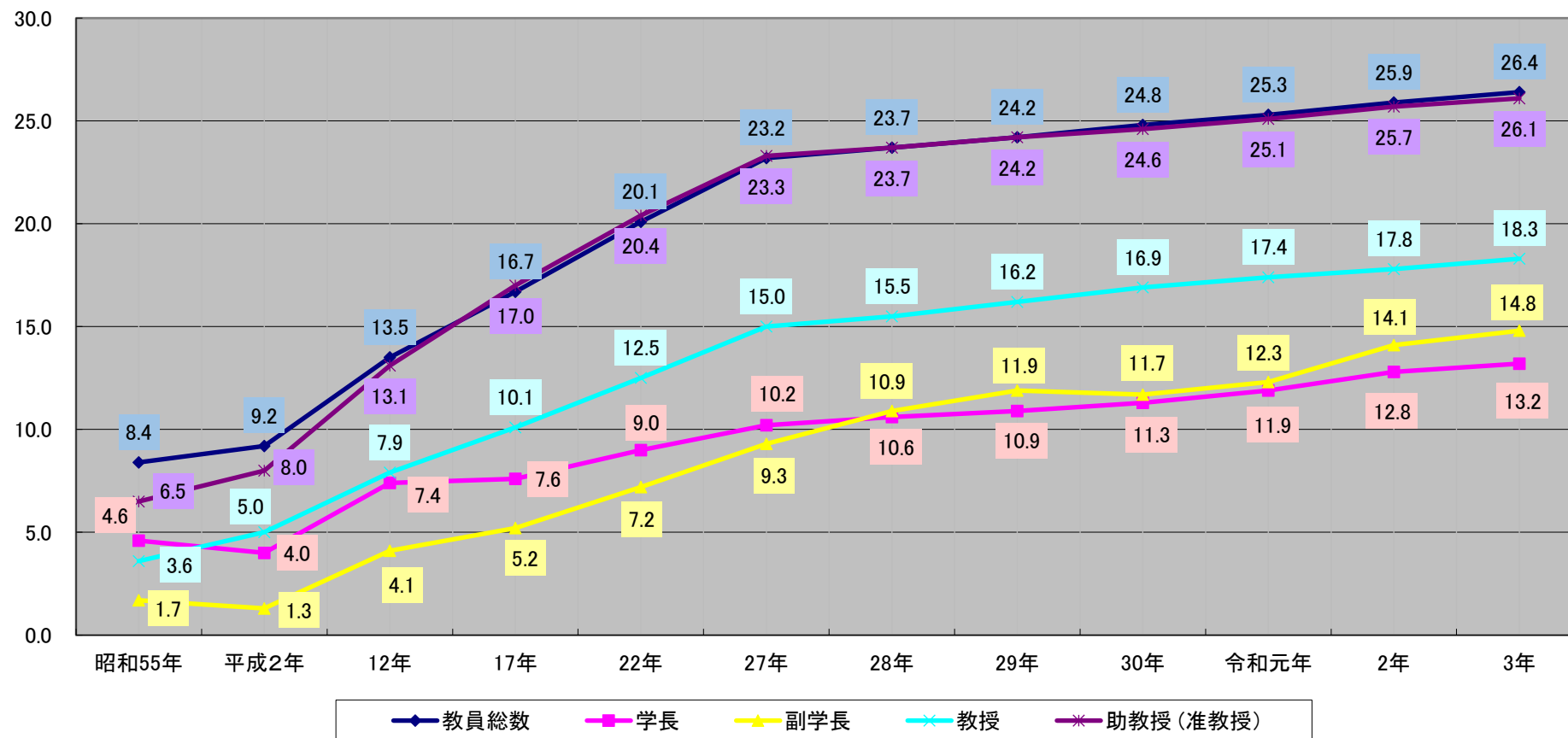
校長に占める女性の割合は、平成30年度から14%程度で推移している。



資料: 高知県統計分析課「令和3年度版 県勢の主要指標」による。各年4月1日現在の数値。

大学の管理職等に占める女性の割合(全国)

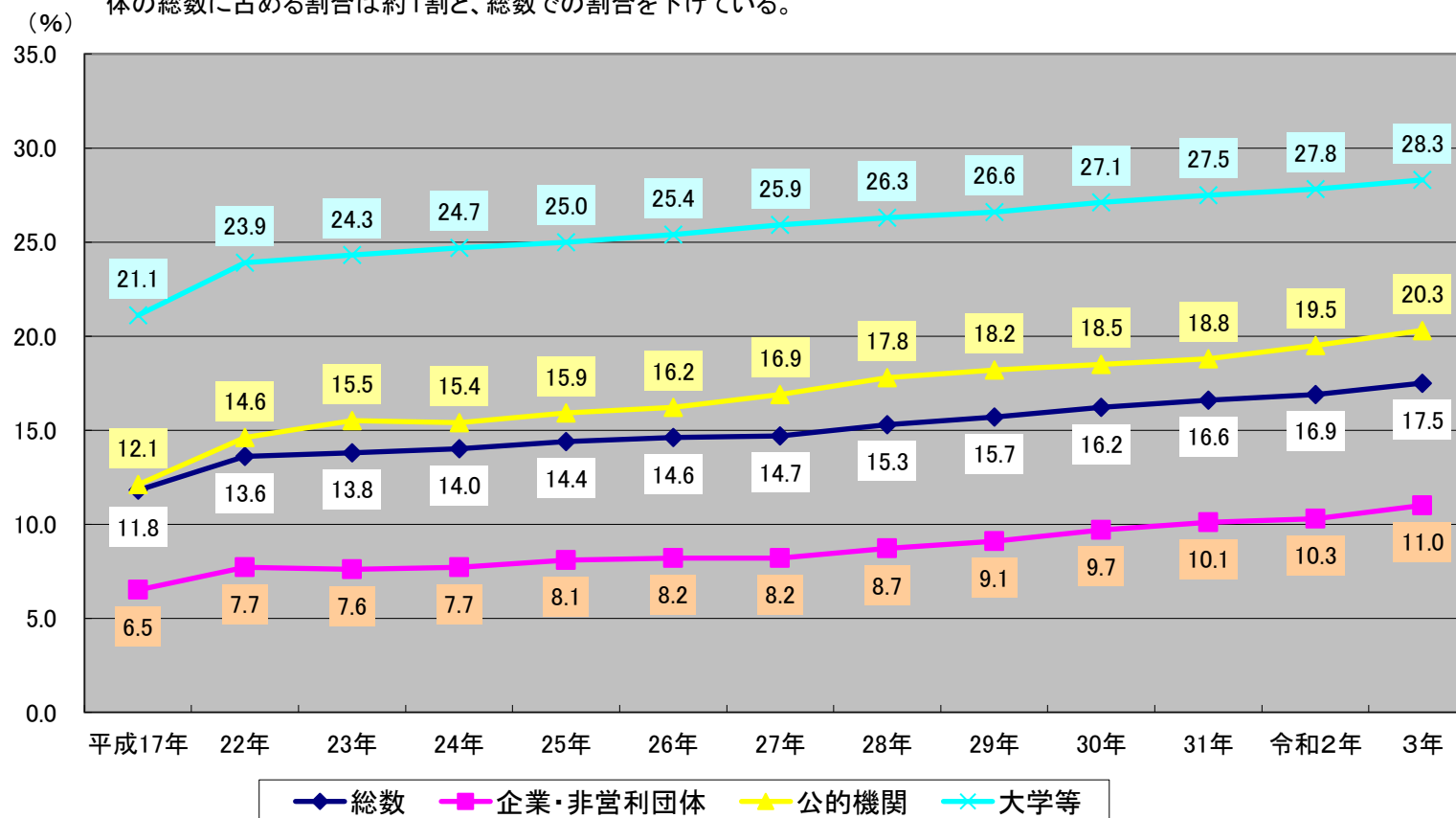
(%) 大学の管理職等に占める女性の割合は、助教授、教授はわずかながら増加傾向にある。しかし、助教授の割合は教員総数に占める女性割合と概ね一致するが、令和3年の学長および副学長の割合は15%に達しておらず、教授の割合は18.3%と依然として低い。



資料:文部科学省「学校基本調査」による。各年5月1日現在。本務教員対象。

研究主体別 研究者に占める女性の割合(全国)

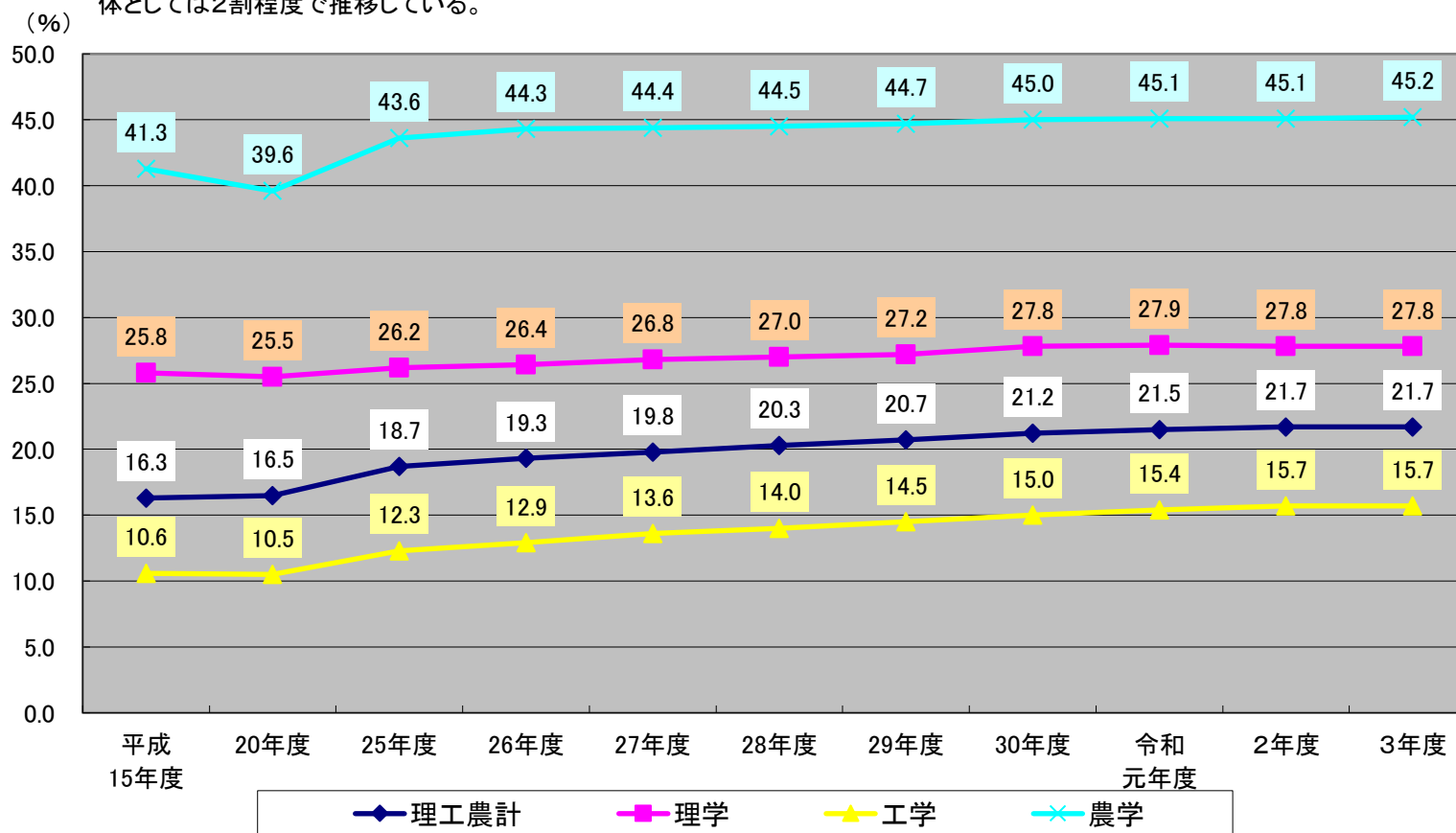
全ての研究主体において、研究者に占める女性の割合は微増しているものの低い水準で推移しており、特に企業・非営利団体の総数に占める割合は約1割と、総数での割合を下げている。



資料：総務省「科学技術研究調査報告」による。各年3月31日現在の数値。

理工農系の学生に占める女性の割合(全国)

学生に占める女性の割合は農学系においては45.2%と高いが、理学系は27.8%、工学系は15.7%と低くなっており、理工農系全体としては2割程度で推移している。



資料: 内閣府男女共同参画局「女性の政策・方針決定参画状況調べ」による。